

新刊案内

神話と伝説にみる 花の シンボル事典



季節とともに私たちの身近にある様々な花。
花の名前が生まれた
背景、意味、物語、歴史を知る本
—— あなたの人生を豊かにする事典! ——

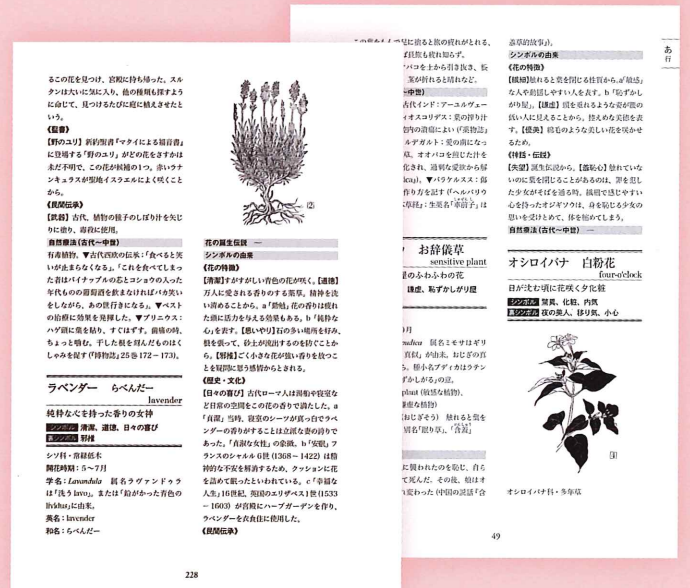
説話社 定価(本体2,800円+税)

- 著者 杉原梨江子
- 発行所 株式会社説話社
TEL03-3204-3221(代表) 03-3204-8288(販売)
- 定価 本体2800円+税
- 体裁 A5判並製・284ページ
- 発売日 2017年6月20日
- ISBN 978-4-906828-35-7

〔内容紹介〕

季節がめぐるたびに私たちの身近にあって心を癒してくれる花々。花の名前には1つ1つに歴史があり、物語があり、言い伝えがあり、「シンボル」となるキーワードがあります。

聖樹研究家の著者、杉原梨江子氏は、そうした花の「シンボル」の元となった神話や伝説をたどり、丹念に拾い集め、長年、取り組んで、ようやく本書が生まれました。キーワードは、表と裏のシンボルの二面を掲げています。約220種の花を収録。挿し絵は141点。うち100点は歴史学上、貴重なもので、17世紀西欧の本草書(日本語版は重要文化財)と江戸時代の草木図から抜粋。



〔著者からのメッセージ〕

ユリは「純潔」、ダリアは「威厳」、アイリスは「メッセージ」etc. 花は人生に美を彩るもの。古代ギリシャの花の誕生伝説には守護や幸せが託され、ナポレオン皇后ジョゼフィーヌなど歴史上の人物のエピソードには、願いを成就する意志の強さが秘められています。花の持つ意味や力を知っていただけたら、一輪を選ぶ時の見る目が変わると思っています。あなたの日常に、本書に登場する花々を役立ててください。



杉原梨江子 (すぎはら りえこ)

文筆家。広島県生まれ。日本の木の文化、世界の木、花、薬草にまつわる伝承や神話、思想を中心に、人間と植物との交流の歴史を研究。また、ライフワークとして、原爆、戦争、震災を生き延びた木々を訪ねて、後世に伝える執筆、講演活動を続けている。日本文藝家協会会員。『被爆樹巡礼〜原爆から蘇ったヒロシマの木と証言者の記憶』『古代ケルト 聖なる樹の教え』『いちばんわかりやすい北歐神話』(実業之日本社)、『自分を信じる 超訳「北歐神話」の言葉』(幻冬舎)、『聖樹巡礼』(PHP 研究所)、『贈ろう、飾ろうインドアグリーンと小さな花鉢』(主婦の友社)ほか著書多数。